

第2期関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年～4年度）の取組実績一覧

基本目標1 産業の振興と人材を育成するまち

【基本目標1】の目指す方向性

- 新たな時代に適合した産業への変革と中小事業所の競争力強化の支援
- 地域経済の好循環の促進
- 誰もが活躍できる仕事の創出
- 個性ある観光戦略の推進
- 農林業の経営安定化と担い手育成

No.	主な事業等	事業内容	KPI (重要業績評価 指標)	担当課	平成30年度 (策定時)	令和2年度 (実績値)	令和2年度進捗状況	令和3年度 (実績値)	令和3年度進捗状況	令和4年度 KPI 目標値	令和4年度 (実績値)	令和4年度のKPI達成状況
1	企業競争力強化支援事業（関市ビジネスプラス展の開催）	企業の優れた技術力や、高品質な製品づくりなどを発表する場を提供し、業務の提携、取引の活性化、雇用確保を進め、さらなる技術力の向上と製品の販路拡大の支援につなげる。また、広くPRすることで「ものづくりのまち・関」の市民意識を高め、全国へ発信していくことを目的に、企業展「ビジネスプラス展in SEKI」を毎年開催する。	ビジネスマッチング数（ビジネスプラス展）	商工課	93件	0件 (コロナのため中止)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度はビジネスプラス展の開催を中止した。	0件 (コロナのため中止)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き、ビジネスプラス展の開催を中止した。	90 件以上	83件	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展社数を制限して実施した（出展社数：R1年：93社 → R4年：64社）ため目標値に達しなかったが、出展社数の減少に反して活発な商談が実施された。
2	商工活動支援事業（関市ビジネスサポートセンター事業）	関市ビジネスサポートセンター「Seki-Biz」を設置し、堅実に頑張る中小企業の「よくなりたい」を支援し、起業家の「夢を実現したい」を応援する経営相談所を運営する。	関市ビジネスサポートセンターへの相談件数	商工課	1,636件	1,823件	関市の産業支援拠点として、市内外の多くの方からの利用がある。令和2年11月に開設されたチャレンジショップ「本町BASE」で定期的に出張相談を実施するなど、より相談しやすい窓口を目指している。	1,465件	セキビズの相談件数は減少しているものの、創業事業者数の実績値は10件であり、創業支援等事業計画の目標値の7件を上回っており、創業支援事業（特定創業支援等事業）とビジネス支援事業（セキBiz運営）を合わせて成果が出ていると考えられる。	1,620 件以上	1,377件	セキビズの相談件数は前年度から横ばいではあるものの、ニーズに応じて、市観光振興プロデューサーや市職員と連携してビジネスを中心とした地域振興に取り組んだ。観光商品開発、ふるさと納税返礼品についてのセミナーを実施し、その参加者を対象に個別相談会を実施した。参加者の満足度も高く、成果が出ていると考えられる。
3	刃物ミュージアム回廊事業/観光宣伝事業	刃物にまつわる施設や神社などをつなぎ、回遊性を持った観光を推進するため、刃物ミュージアム回廊整備を推進する。PR動画の制作・配信や観光アプリの開発など、関市の認知度を高めるための様々な取組を推進する。また、日本刀鍛錬技術やご当地グルメ等、既存の関市の観光資源の魅力を高めるとともに観光シニアプロモーションを展開し、観光誘客を図る。	市内全域の観光入込客数	観光課	3,534千人	2,372千人	新型コロナウイルスの影響により、ほぼすべての既存の観光施設等で入込客数が減少した。そのような中、令和3年3月にせきてらすをオープンし、隣接する岐阜県刃物会館とともに多くの方に来場していただいている。今後も魅力的なイベントを継続し、市内の集客に繋げていく。	2,502千人	観光プロモーション動画「フラワーズ・ブルーム」を制作し、オンラインイベントやせきてらすでの試写会を開催し、関市の魅力発信を行っている。より多くの人に見てもらい、当市への誘客に繋げる事業を展開していく。	3,817 千人	2,643千人	令和2年度以降、コロナ禍により各種イベントの中止が相次ぐなか、4年ぶりに本町通で刃物まつりを開催した。「フラワーズ・ブルーム」のスピンオフ企画としてTikTokダンスコンテスト「ドリームズブルーム」を開催し、動画視聴数の向上とともに市のPRを行った。市の事業者を対象に新商品・サービス開発コンテストを開催し、全国冊子及びWEBでのPRを実施した。
4	新規就農事業	市農林課、県農林事務所、JAとともに新規就農への有利な施策等の周知、啓発及び営農指導を行う。また、新規就農の相談があった場合に新規参入に向けて支援する。	就農計画認定者数	農林課	6人	15人	計画どおり認定できている。引き続き、関係機関と連携を取りながら、就農できる環境づくりに努める。	16人	計画どおり認定できている。引き続き、関係機関と連携を取りながら、就農できる環境づくりに努める。	15 人	19人	計画どおり認定できている。引き続き、関係機関と連携を取りながら、就農できる環境づくりに努める。

基本目標2 魅力を高めて交流・定住・関係人口を増やすまち

【基本目標2】の目指す方向性

- 「暮らしと仕事」の情報発信と移住定住に関する支援の充実
- スポーツ・ヘルスケア、観光・文化、地域体験等をきっかけとした関係人口の増加
- ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用による市域の活性化
- 新たにチャレンジできる環境の整備とまちの活力向上

No.	主な事業等	事業内容	KPI (重要業績評価 指標)	担当課	平成30年度 (策定時)	令和2年度 (実績値)	令和2年度進捗状況	令和3年度 (実績値)	令和3年度進捗状況	令和4年度 KPI 目標値	令和4年度 (実績値)	令和4年度のKPI達成状況
1	まちづくり計画事業	今後の人口減少かにおいて持続可能で利便性の高いまちづくりを進めるため、これまでの土地利用規制・誘導や都市施設整備といった都市計画により取組に加え、立地適正化計画に基づき医療、福祉、商業など施設立地の誘導や一定エリアへの居住誘導を図る。	居住誘導区域内転入人口	都市計画課	632人	508人	近年、下有知地区などへの転入は比較的多いが、計画で定める居住誘導区域内の令和2年度転入人口は、目標と比較し減少が大きい状況。引き続き、平賀地区での土地区画整理事業推進に係る経費を助成し、居住誘導区域内への今後の転入促進に努める。	518人	立地適正化計画に基づき関係課と連携しながら誘導政策に取り組んでいるが、中心市街地においては人口が減少している。引き続き各誘導政策を実践するとともに、市街地中心部のにぎわい創出のため、ハード（都市再生整備計画）とソフト（本町BASE・古民家）の両面から事業を展開することで、相乗効果を狙う。	622人以上	517人	市街地中心部では特に人口が減少している状況。市街地中心部の人口減少を抑制するため、魅力あるまちづくりやにぎわい創出のための拠点施設を整備、運営している。また、観光拠点施設や周辺の観光資源を歩いて巡る遊歩道や、人々が交流できるふれあい広場を整備（R3～R7年度）し、一体的な歩行者ネットワークの整備を推進している。
2	空き家バンク事業	市内の利用可能な空き家を登録し、移住希望者や転入者などに売買及び賃貸ができる制度。見学会から契約まで、市と協定を締結する不動産事業者による媒介の依頼をすることができる。	空き家バンクを利用した移住者数	企画広報課	6人	10人	空き家バンク活用による成約数は増加している。今後は、空き家バンクへの新規登録促進が課題である。固定資産税の納税通知書を送付に併せて、本制度の効果的な周知を図っていく。	19人	空き家バンクへの物件登録希望者に市内協力不動産事業者への登録も推奨したことで、移住希望者へ広く空き家情報を周知できた。空き家バンク利用による移住者は増加傾向にあるが、目標値には達していないことから、空き家所有者へバンクへの登録を促す必要がある。	35人	13人	固定資産税納税通知書の同封チラシおよび市内の協力不動産事業者との連携により、空き家バンク物件登録数は増加傾向にあるが、移住者数は目標値には届いていない状況である。引き続き、ホームページおよびSNSを活用した周知を積極的に行う。

第2期関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年～4年度）の取組実績一覧

基本目標3 子どもを生き・育てやすく、誰もが活躍できるまち

【基本目標3】の目指す方向性

- 男女の出会いの奨励と結婚の支援
- 妊産婦のケアとサポートの充実
- 安心して子どもを産み育てるための子育て支援の充実
- 未来を創る子どもたちの教育の充実

No.	主な事業等	事業内容	KPI (重要業績評価 指標)	担当課	平成30年度 (策定時)	令和2年度 (実績値)	令和2年度進捗状況	令和3年度 (実績値)	令和3年度進捗状況	令和4年度 KPI 目標値	令和4年度 (実績値)	令和4年度のKPI達成状況
1	地域子育て支援拠点の増設	各地域のふれあいセンターに地域子育て支援拠点「せきっこひろば」を開設し、子育て親子が交流できる集いの場となるとともに、児童指導員が子育てに関するよき相談相手となるなど、安心して子育てできる環境を提供する。	地域子育て支援拠点数(箇所数)	子ども家庭課	2カ所	7カ所	令和2年度中に、目標を上回る7カ所の地域子育て支援拠点を開設し、身近な場所で子育て親子が交流、相談できる場が提供できている。	8カ所	令和3年度中に新たに1カ所の地域子育て支援拠点を開設し、子育て親子が気軽に地域の親子と交流、子育てに関する悩みを相談できる場所が提供できている。	6カ所以上	8カ所	各ふれあいセンターで地域子育て支援拠点(せきっこひろば)を順次開設し、子育て親子が気軽に交流し、子育てに関する悩みを相談できる場所が、市内のすべての小学校区に1カ所以上設置することができている。
2	市の子育て支援策の充実	関市子育て応援券(ベビチケ)の発行、関市ママサポート券(妊娠～産後の育児の不安や悩みを解消し、安心して子育てできるようにママをサポートする助成券)の発行等	子育て支援の市民満足度(市民アンケート調査結果)	子ども家庭課 市民健康課等	87.5%	93.5%	令和2年度から、妊娠祝い品としてせきチケ5,000円分をプレゼントするなど子育て世帯の経済的支援を拡充し、高い満足度が得られている。	93.1%	令和3年度から妊娠祝い事業を拡充し、せきチケ10,000円分をプレゼントしている。その他ベビチケ発行や2歳児までのごみ袋交付等、子育て世帯への経済的支援により、高い満足度を維持している。	87.5%以上	90.8%	市民アンケート調査結果では高い満足度を維持している。令和4年度は、子育て世帯への市独自の物価高騰緊急支援として、対象児童一人につき5,000円分の電子商品券「せきpay」を給付した。また、令和5年4月から18歳までの医療費無料化を決定した。

基本目標4 時代に合った「ちょうどいい暮らし」ができるまち

【基本目標4】の目指す方向性

- Society5.0・ICT時代に適合したまちの創造
- 高齢化社会に備えた人材確保と健康づくりの推進
- 市民自治の基盤強化と住民活動の支援
- 新たな時代に適合した施策やSDGsの理念に則った施策の推進
- 誰もが活躍できる環境の整備とダイバーシティの推進

No.	主な事業等	事業内容	KPI (重要業績評価 指標)	担当課	平成30年度 (策定時)	令和2年度 (実績値)	令和2年度進捗状況	令和3年度 (実績値)	令和3年度進捗状況	令和4年度 KPI 目標値	令和4年度 (実績値)	令和4年度のKPI達成状況
1	若者活躍支援事業「VSプロジェクト」	市内の若者自身の成長やまちづくりのプレイヤーを育成することを目的に、10代から20代の若者と一緒に様々なまちづくり事業の企画運営を行う。	高校生まちづくり事業数(企画の実行件数)	市民協働課	3件	6件	新型コロナウイルスの影響で大きな打撃を受けた地域の飲食店を応援するため、ご当地の特産品を全国の高校生団体と交換し、SNS等で紹介するプロジェクトに参加するほか、関市、美濃加茂市、各務原市の高校生を対象とした探究活動の交流会に参加するなど、6件の事業を実施した。	8件	地域の飲食店の協力を得て、オリジナルクラフトコーラの販売や市内飲食店を取材してグルメマップを作成するプロジェクトを実施した。また、全国の高校生団体が集まるサミットに参加するなど、8件の事業を実施した。	6件	8件	高校生が主体となり関市を舞台に事業の企画・運営を行うVSプロジェクトチームは、令和4年度は募集定員の15名の応募があり、活動の輪が広がっている。その他、関市まちづくり団体・まちづくりプレイヤー登録制度を活用して自主的なまちづくり活動を実施する人や、地元就職する人が出てきている。
2	行政サービスのオンライン申請導入	マイナポータル「びったりサービス」を活用したあらゆる分野の手続きのオンライン申請を実現する。	オンライン申請可能な制度数(マイナンバーカード利用)	行政情報課	10件	15件	主に児童手当に関する手続きなど合計15件をオンライン申請可能とすることができた。さらに令和3年度以降は、関市公共施設のオンライン予約システムの導入を進める。	15件	びったりサービスを活用したオンライン申請については、令和2年度に引き続き実施している。関市公共施設予約システムの本稼働を開始した。また、ロゴフォームを利用したオンライン手続きが徐々に浸透している。	10件以上	39件	マイナンバーカードを活用する国のびったりサービスによるオンライン申請については、新たに転入転出関係及び介護保険関係の手続きが利用可能になり目標を上回る。公共施設予約システムは、体育施設や文化会館など95施設がWEB予約可能となった。